

令和4年度 第2回大農事組合長会議次第

開催日時及び場所

日時		対象地区	会場
8月30日(火)	午前10時00分	直方・小竹地区	本所
	午後1時30分	若宮地区	若宮支所
8月31日(水)	午前10時00分	鞍手地区	鞍手支所
	午後1時30分	宮田地区	宮田支所

【1】開会のことば

【2】あいさつ

【3】説明事項

1. 地域水田(再生)農業推進協議会からの連絡

2. 行政からの連絡

3. 営農生活課からの連絡

- (1) 令和2年産米の最終精算金について P 1
- (2) 普通期水稻の収穫について P 2
- (3) 令和4年産米概算金について P 3
- (4) 令和4年産米出荷契約数量集計表について P 4
- (5) 令和4年産米入庫について P 5・6
- (6) 肥料価格高騰対策について P 7・8
- (7) 「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について P 9・10
- (8) JA直鞍ブロックリー産地づくり状況報告(令和4年産)について・P 11
- (9) 令和4年度賦課金の徴収について

11月末をめどに貯金決済をさせていただきますのでお知らせいたします。

【正組合員戸割 500円・部会賦課金 1,000円】

(10) 「農業日誌」「ファミリー日誌」「新農家暦」の刊行中止について

「農業日誌」「ファミリー日誌」「新農家暦」につきまして、発行元の農林統計協会より令和4年版(令和3年の年末に刊行)をもちまして刊行を中止する旨のお知らせがありました。長い間ご購入いただき、ありがとうございました。

4. 経済農機課(グリーンセンター)からの連絡

(1) 各種注文について

①令和5年産春馬鈴薯種、玉葱・甘藍苗注文書について P 12

(2) 令和4年度大型特殊(農耕車限定)の教習会開催について P 13

5. その他

(1) 今後の支所・事業所再編について P 14・15

【4】閉会のことば

【提出書類】 《提出先 各グリーンセンター・営農センター》

◎令和5年産 春馬鈴薯種、玉葱・甘藍苗注文書

◎令和4年度大型特殊(農耕車限定)申込書

提出締切日： 令和4年9月26日(月)

(1) 令和2年産米の最終精算金について

単位:円/60kg

品種名	概算金① (当初振込額)	最終精算金② (今回振込額)	最終手取額 ①+②	前年差 R2-R1	備考
コシヒカリ	12,470	3,117	15,587	+800	1等価格
夢つくし	12,950	1,708	14,658	+3	1等価格
元気つくし	12,950	1,355	14,305	-76	1等価格
ヒノヒカリ	11,570	2,270	13,840	37	1等価格
つくしろまん	11,690	2,034	13,724	-153	2等価格
にこまる	10,670	2,219	12,889	17	2等価格
実りつくし	10,970	1,680	12,650	-630	2等価格
ヒヨクモチ	11,810	3,011	14,821	+87	2等価格

※「最終精算金②」の振込予定日は令和4年8月30日です。

(2) 普通期水稻の収穫について

1. 生育概況

普通期水稻は、7月中旬を除き、高温多日照で推移したため生育は旺盛に進んでいます。出穂は5日程度早くなったため、収穫期も早くなる見込みです。下記の表を参考に、収穫期の計画を立ててください。

現在、出穂期を迎えており、用水が最も必要な時期となっていますが、5月からの積算降水量は平年の50%程度しかなく、用水不足が生じている地域があります。

病虫害は、いもち病、カメムシ類に注意が必要です。

2. 水管理

○出穂前後10日間は、水を切らさないようにしましょう。

稲は出穂前後10日間に最も水を必要とします。この時期は、ほ場を乾かさず、浅水状態を保つようにしましょう。その後は落水まで間断かん水に努めましょう。

○中干しが不十分だったほ場は、出穂後10日以降、強めの間断灌水を行いましょ。

倒伏防止、地耐力強化のために、田面を徐々に固めるようにしましょう。

○落水の時期は収穫前1週間程度が目安です。早すぎると充実不足を招きます。

ほ場条件や天候を考えて決め、可能な限り落水時期は遅くしましょう。

3. 収穫時期の目安（出穂後積算気温による）

黄褐色籾の比率 : 早限70%
 籾水分：夢つくし 早限28%～晩限24%
 元気つくし 早限28%～晩限23%
 ヒノヒカリ 早限28%～晩限22%

品 種	移植日	出穂期	予想収穫適期
夢つくし	5月20日	7月28日頃	8月29日～9月 4日
	5月27日	8月 1日頃	9月 2日～ 8日
	6月 3日	8月 4日頃	9月 6日～ 12日
	6月10日	8月 8日頃	9月11日～ 17日
元気つくし	5月30日	8月 9日頃	9月14日～ 18日
	6月 6日	8月11日頃	9月16日～ 20日
	6月13日	8月14日頃	9月20日～ 24日
	6月20日	8月17日頃	9月23日～ 28日

※現時点での予想です。実際の収穫開始は、上表を参考に、ほ場を見て籾の黄化程度、籾水分により判断してください。

※出穂期後積算気温(夢つくし:850～1050℃, 元気つくし:900～1050℃, ヒノヒカリ:900～1050℃)を収穫適期として飯塚アメダスの値により予測しています。

(8/8までは実測値、それ以降は平年値で試算。)

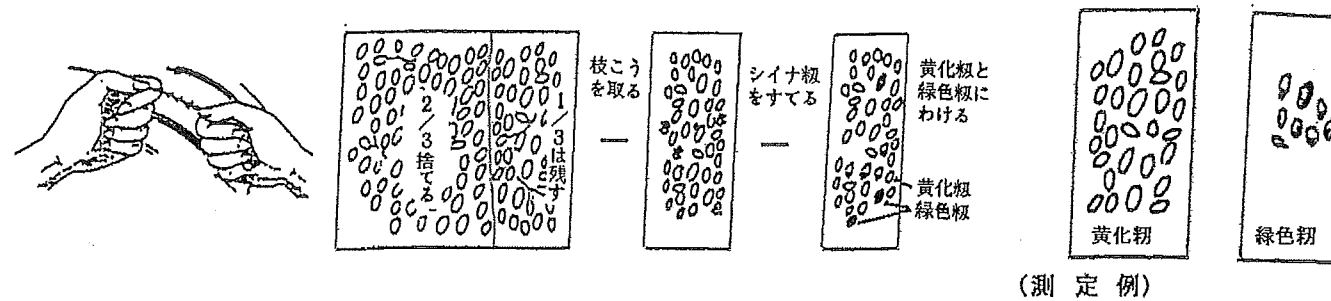
※出穂期や収穫時期は、圃場条件、肥培管理、生育量、天候等で異なります。

4. 収 穫

- ・黄褐色籾比率が7割以上、籾水分28%以下を目安に開始しましょう（早限）。
- ・収穫は乾燥機の処理能力を考えて計画的に行いましょう。
- ・コンバインの詰まり防止のため、朝露が乾いてから作業しましょう。
- ・コンバインのエンジン回転数を必要以上に上げると、こぎ胴の回転数が上がりすぎ、脱ぶ粒や破損粒が増加するため、規定の回転数で作業しましょう。
- 高水分の籾を長い間袋詰めしておくとかげ米が発生し、品質が低下します。
 収穫後は2時間以内に乾燥または通風を始めてください。
 共乾施設へも、収穫後2時間以内に持ち込んでください。
- ・刈り遅れないよう、籾水分が晩限を下回る前に収穫を終了しましょう。

《刈遅れの弊害》 ・胴割れ、茶米、穂発芽、腐れ粒等による検査等級低下

《黄褐色籾割合による収穫適期の判定》



5. 乾 燥

- ・胴割れ防止のため、籾水分が28%以上の場合は通風乾燥または40℃以下で乾燥しましょう。籾水分が27%以下の場合は50℃程度で乾燥しましょう。
- ・籾水分が18%になったときに5時間程度乾燥を休止すると籾の水分むらが少なくなります。
- ・乾燥機についている水分検定器は、収穫前に誤差を修正しておきましょう。

6. 調 製

- ・籾すり直前に水分を測定し、水分が高い籾は籾すりせず、再度乾燥しましょう。
 (高水分で籾摺りすると肌すれ米が発生します。)
- ・玄米の仕上げ水分は15%、玄米のふるい目は1.85mmです。
- ・肌すれ米や籾・シイナが混入しないように注意しましょう。

(3) 令和4年産米概算金について

1. 米穀情勢
 令和3年産米の需要量は、消費量が年々減少している状況に加え長期化するコロナ禍に伴う影響等により702万トン(前年比▲2万トン)となりました。
 令和4年産米は、国が策定する需要見通しに基づいた必要な作付け転換の▲3.9万haを達成する見込みではありますが、3年産米の持越在庫が前年より更に増加した49万トン以上が想定されるため、現行の需給環境の長期化が懸念されます。

2. 設定内容
 令和4年産米の他県の小売販売状況については、精米10kgで前年比▲200円程度となっています。概算金についても▲1,000円/60kgの設定となっています。福岡県産米は、全国の需要動向を注視しつつ、年間を通じて県内需要に向けて販売することを踏まえ、古米を持ち越さないように柔軟な価格設定ができるよう概算金の設定をしました。

令和4年産米概算金単価一覧表

(JA規格) (税込/60kg)

品種名	年産	1等	2等	3等	備考
コシヒカリ	令和3年産	11,270	10,970	9,950	紙袋代(170円)を含む
	令和4年産	10,670	10,370	9,350	
	(前年差額)	-600	-600	-600	
夢つくし	令和3年産	12,050	11,750	10,730	紙袋代(170円)を含む
	令和4年産	11,270	10,970	9,950	
	(前年差額)	-780	-780	-780	
元気つくし	令和3年産	11,870	11,570	10,550	紙袋代(170円)を含む
	令和4年産	11,090	10,790	9,770	
	(前年差額)	-780	-780	-780	

注1) 上記の概算金は既に出荷契約(令和4年産米穀の出荷契約書)を締結して頂いている方が対象です。今後、出荷契約を締結される方については、上記概算金の変動する場合がございます。

注2) 等級格差1等基準から2等は▲300円/60kg、3等は▲1,320円/60kg

注3) JA規格：ふるい目1.85mm以上、適正水分14.0%~16.0%以内

注4) 水分格差：過乾燥(14.0%未満)▲720円、水分過多(16.0%超過)規格外価格

注5) 上記の概算金単価は令和4年12月末までに出荷された方が対象です。

(4) 令和4年産米出荷契約数量集計表 (市町村別)

令和4年8月22日現在

地 区		コシヒカリ	夢つくし	ヒノヒカリ	元気つくし	その他うるち	うるち計	ヒヨクモチ	総 計
直方市	R3		1,154.0俵	95.0俵	378.0俵	48.0俵	1,675.0俵	8.0俵	1,683.0俵
	R4		1,108.0俵	81.0俵	513.0俵	40.0俵	1,742.0俵	11.0俵	1,753.0俵
	前年対比		96%	85%	136%	83%	104%	138%	104%
小竹町	R3		2,176.0俵	96.5俵	347.5俵	45.0俵	2,665.0俵		2,665.0俵
	R4		1,868.0俵	35.0俵	358.0俵		2,261.0俵		2,261.0俵
	前年対比		86%	36%	103%		85%		85%
宮若市	R3	241.0俵	13,970.5俵	1,492.5俵	2,484.0俵	253.0俵	18,441.0俵	73.0俵	18,514.0俵
	R4	333.0俵	14,445.5俵	1,152.5俵	2,679.0俵	308.0俵	18,918.0俵	47.0俵	18,965.0俵
	前年対比	138%	103%	77%	108%	122%	103%	64%	102%
鞍手町	R3		9,026.5俵	2,521.5俵	990.0俵	196.0俵	12,734.0俵	80.0俵	12,814.0俵
	R4		9,325.5俵	2,247.5俵	880.5俵	392.0俵	12,845.5俵	127.0俵	12,972.5俵
	前年対比		103%	89%	89%		101%	159%	101%
合 計	R3	241.0俵	26,327.0俵	4,205.5俵	4,199.5俵	542.0俵	35,515.0俵	161.0俵	35,676.0俵
	R4	333.0俵	26,747.0俵	3,516.0俵	4,430.5俵	740.0俵	35,766.5俵	185.0俵	35,951.5俵
	前年対比	138%	102%	84%	106%	137%	101%	115%	101%
								J A米	35,951.5俵

(5) 令和4年産米入庫について

銘柄書き方見本	
夢つくし	
コシヒカリ	
元気つくし	
ヒノヒカリ	
ヒヨクモチ	
にこまる	
実りつくし	
つくしろまん	
ふくのこ	

1. 入庫日及び倉庫

2. 入庫受付時間

午前9時00分から午前12時00分まで

(午前12時を過ぎる場合は下記へご相談下さい。)

3. 入庫時の注意

※皆掛重量 紙袋：30.6Kg (くず米は25.5Kg) フレコン：1,033Kg (風袋込み)

※目標水分 14.5%

○14%未満、16%を超過は過乾燥又は高水分となりJA米の基準に入りませんので概算金が減額されます。
なお、水分が16%を超過すると、等級は規格外となります。

※ふるい目 1.85mmで統一

※出荷用紙袋の検査証明書の「年産」「銘柄」検査請求者記載欄の「氏名」「住所」「品種名」

もみすり責任者記入欄は「氏名」を記入して下さい。

(必要事項の記入がない時は受付できません)

※入庫時までに必ず栽培履歴用紙及び生産者自己点検チェックシートを提出して下さい。

※もみ混入米が大変増えていますので、摺りはじめ、摺り終わり時は

特に注意をお願い致します。もみが混入しますと等級が下がります。

※自宅で保管中は袋の汚れやコクゾウムシの付着等無いよう注意してください。

汚れ等のひどい場合は詰替えをお願いする場合があります。

※フレコン出荷の場合は、計量の関係上ライスセンターへ入庫をお願いします。

4. 加工用米の取扱について

経営所得安定対策の導入に伴い、加工用米を全量出荷して頂きませんと

補助金対象となりません。その為、入庫時において加工用米を品種ごとに優先して取らせていただきます。

5. 屑米の取扱について

※くず米は皆掛重量25.5kgを1袋単位とし入庫してください。

紙袋の再流通を防ぐため、一空袋の検査証明書・検査請求者記入欄はマジックで大きく×で消して下さい。

6. ウベパレットの返却について

米入庫時に貸出したパレットをまだ返却されていない方は、必ず入庫時に使用し返却頂くか

営農センターまでご連絡の上必ず返却して頂きます。

紛失された方又は11月までに返却のない方は、5,000円/枚頂く場合があります。

7. 異品種混入など疑わしい米についてはDNA分析を実施する場合があります。

※分析料については、生産者負担となります。

※11月は入庫日を定めておりませんが、入庫のある方は営農センターまでご連絡お願い致します。

令和4年産米 入庫日程表

月日	曜日	頓野	小竹	新入	本城	下有木	金丸	若宮RC	鞍手RC
8/17	水				入庫			入庫	
8/18	木								
8/19	金						入庫		入庫
8/20	土								
8/21	日								
8/22	月								
8/23	火					入庫			入庫
8/24	水				入庫		入庫		
8/25	木								
8/26	金					入庫			入庫
8/27	土								
8/28	日								
8/29	月								
8/30	火								
8/31	水				入庫		入庫		
9/1	木								
9/2	金					入庫			入庫
9/3	土				入庫		入庫		
9/4	日								
9/5	月								
9/6	火								
9/7	水				入庫		入庫		
9/8	木								
9/9	金					入庫			入庫
9/10	土		入庫				入庫		
9/11	日								
9/12	月								
9/13	火							入庫	入庫
9/14	水				入庫		入庫		
9/15	木								
9/16	金					入庫			入庫
9/17	土		入庫				入庫		
9/18	日								
9/19	月								
9/20	火								
9/21	水				入庫		入庫	入庫	
9/22	木								
9/23	金	入庫	入庫						
9/24	土						入庫		入庫
9/25	日								
9/26	月								
9/27	火			入庫				入庫	
9/28	水				入庫		入庫		
9/29	木								
9/30	金			入庫					入庫

月日	曜日	頓野	小竹	新入	本城	下有木	金丸	若宮RC	鞍手RC
10/1	土						入庫	入庫	
10/2	日								
10/3	月								
10/4	火	入庫	入庫						
10/5	水				入庫		入庫		
10/6	木								
10/7	金	入庫		入庫					
10/8	土						入庫		入庫
10/9	日								
10/10	月								
10/11	火					入庫			入庫
10/12	水				入庫		入庫		
10/13	木								
10/14	金	入庫		入庫					
10/15	土						入庫		入庫
10/16	日								
10/17	月								
10/18	火							入庫	入庫
10/19	水				入庫		入庫		
10/20	木								
10/21	金		入庫	入庫					
10/22	土						入庫		入庫
10/23	日								
10/24	月								
10/25	火	入庫		入庫					
10/26	水								
10/27	木								
10/28	金	入庫		入庫					
10/29	土								
10/30	日								
10/31	月								

※ 入庫時間 9時～12時まで

ご連絡先

営農センター TEL0949-32-3755

担当：稲垣・浦邊・安河内

JAに出荷される米袋の記入について

検査証明書	
令和 4 年産	水稲うるち玄米
銘柄 福岡県産	夢つくし
正味重量規格 30 kg	
	荷造り、包装及び左記の事項を証明する。 直轄農業協同組合 品種名2カ所記入

検査請求者記載欄	
検査請求者	農協太郎
住所	福岡県宮若市 本城
代理人	直轄農業協同組合
住所	福岡県直方市知古2丁目3番4号
生産地	福岡県
品種名	夢つくし

もみすり責任者記入欄	
使用ふるい目	1.85 ミリ
皆掛重量	30.6 kg

年産は4を記入(3年産を記入している場合は、2重線で「3」を消して「4」を記入してください) \Rightarrow $\frac{4}{\text{—}3\text{—}}$ 年産

住所欄は大字まで記入。番地は記入の必要はありません。

※銘柄・品種名は下記のとおりご記入ください。

夢つくし
コシヒカリ
元気つくし
ヒノヒカリ
ヒヨクモチ
にこまる
実りつくし
つくしろまん

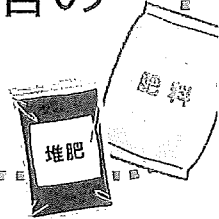
本人の場合は名前を記入
「農協太郎」

もみすりを委託される場合は委託先の名前を記入
「〇〇精米所」

肥料価格高騰対策のごあんない

～肥料価格高騰に直面する農家の皆様を支援します～

肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の皆様の肥料費を支援します。



支援の対象となる肥料

令和4年6月から令和5年5月に購入した肥料(本年の秋肥と来年の春肥として使用する肥料)が対象です。

支援の内容

化学肥料低減の取組を行った上で前年度から増加した肥料費について、その**7割**を支援金として交付します。

支援金 =

$$\left(\text{当年の肥料費} - \left[\frac{\text{当年の肥料費}}{\left[\begin{array}{c} \text{統計データ} \\ \text{を基に決定} \end{array} \right]} \div \left[\begin{array}{c} \text{使用量低減率} \\ \text{0.9} \end{array} \right]} \right) \times 0.7$$

申請に必要なもの

次の2つがあれば申請できます。

- ① 本年秋肥(令和4年6月～10月に注文)、来年春肥(令和4年11月～令和5年5月に注文)の購入価格がわかるもの(注文票など)
 (本年秋肥と来年春肥は、それぞれをまとめて、別々に申請してください。注文票のほか、領収書または請求書が必要です。)
- ② 化学肥料低減に向けた取組に**2つ以上**取り組むこと
 (次のページのチェックシートで申告していただきます。)

次のページを参照

農業者の皆様に記入いただくもの

化学肥料低減計画書

「令和4年度又は令和5年度の取組」欄のうち、取り組めるものに○を記入してください。

- 2つ以上に○が付けばOKです。
- これまで既に取り組んでいるものもカウントできます(その場合、1つ以上は、新しい取組または従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。)

作付概要

作物名	作付面積(ha)
○○○	
○○○	
その他	
計	

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付けてください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	◎
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。
 ※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署)

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。
 なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

申請方法

農業者グループで申請してください。申請先や申請期限は、都道府県・市町村、またはお近くの農協、肥料販売店にお問い合わせください。

〔5戸以上のグループで申請してください。農協や肥料販売店などでまとめてグループ申請していただくことを想定しています。〕

スケジュール

今後のスケジュールは、概ね以下のとおりです。

令和4年8月	事業説明会 県段階の組織(申請窓口)の体制づくり
令和4年10月頃～	農業者グループからの申請(秋肥分)
令和4年12月頃～	農業者グループへの支援金の交付(秋肥分)
令和5年2月頃～	農業者グループからの申請(春肥分)
令和5年3月頃～	農業者グループへの支援金の交付(春肥分)

Q&A

問

答

- ① 化学肥料が足りなくなるということを聞いたのですが。
- ・ 肥料メーカーや輸入事業者の皆様のご努力により当面必要な肥料原料は確保されています。
 - ・ 今後も、調達状況を注視して、肥料の安定供給に取り組んでまいります。

問

答

- ② 化学肥料の使用量を実際に2割減らすことが支援の要件ですか。
- ・ 化学肥料の2割低減に向けて、取組メニューのうち2つ以上行っていたら支援対象となります。
 - ・ 選択された取組について、適切にフォローしていきます。
- ③ 既に化学肥料の低減に取り組んでいるため、更に低減することは難しい。
- ・ 既に取り組んでいるものもカウントします。
 - ・ その際は、既に行っている取組の拡大や改善で良いので、新たな取組みを1つ以上行ってください。
- ④ 低減に向けた取組をしたいが、準備が必要なのですぐには行えない。
- ・ 本年に取り組めない場合は、来年に取り組んでいただければ結構です。
 - ・ 国内資源の利用など体制整備に時間を要する取組は、期間内に取り組んでいただければ結構です。
- ⑤ いつ頃までに申請すれば良いですか。また、いつ頃支援を受けられますか。
- ・ 基本的に秋肥、春肥でそれぞれまとめて申請してください。
 - ・ 秋肥について、早めに申請いただければ、できるだけ年内に支払えるようにします。
- ⑥ 領収書の提出が間に合わない場合はどうすれば良いですか。
- ・ 領収書が間に合わない場合は、請求書を提出いただければ、支援金をお支払いすることができます。
 - ・ 肥料を購入した農協や販売店に御相談ください。

(7) 「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について

いつもアグリ土づくりセンターの牛ふん堆肥をご利用いただきありがとうございます。

さて、JA直鞍では地力低下に伴い水稲、麦、大豆など土地利用型作物の収量が低下していることから、収量の安定をはかるため堆肥や土壌改良材を投入する事を奨めています。

JA直鞍の「アグリ土づくりセンター」が製造する「堆肥」は良質な堆肥として管内・管外からも評価をいただいております。

土壌という大切な資産を守るには、やはり土作りが基本です。

土作りは、良質な有機質の投入が欠かせません。

是非、みなさまにアグリ土づくりセンターの堆肥をご活用下さい。

そして、土作りを基本とした農業を実践して下さい。

「健全な土壌には健全な作物が育つ」

「アグリ土づくりセンター」は、堆肥による土作りを通して、みなさまの大切な資産である土壌の健康づくりをお手伝いいたします。

又、このアグリ土づくりセンターでは新しいパンフレットを作成しております。

- ①アグリ土づくりセンターが目指すもの
- ②利用者の声
- ③堆肥の製造工程図
- ④価格一覧表等を掲載しておりますのでご覧下さい。

堆肥のご注文に関しては直接「アグリ土づくりセンター」または各グリーンセンターに申込書を準備しておりますので宜しくお願いします。

アグリ土づくりセンター 電話番号 42-1175
住所 鞍手町室木189番地1

●堆肥価格一覧表

基準日:令和3年11月1日

種類	区分	容量	価格(税込)	備考
水田用堆肥	直取り	1トン	3,500円	
		軽トラ	1,000円	
	配達のみ	2トン	8,000円	
		配達・散布	2トン	9,000円
園芸用堆肥	直取り	1.8㎡	5,000円	
	配達のみ	3.6㎡	12,000円	

●施肥基準量一覧表 (10a当たり)

品目	堆肥量
水稲	2トン
大麦・小麦	2トン
大豆	2トン
ブロッコリー	2トン
キャベツ	4トン
ぶどう	1トン

●堆肥分析検査データ

一般財団法人畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所

分析日:令和3年3月15日

分析項目	水分	(pH)	EC(mS/cm)	窒素(N%)	リン酸(P%)	加里(K%)	石炭(C%)	苦土(Mg%)	銅(mg/kg)	亜鉛(mg/kg)	鉄(mg/kg)	マンガン(mg/kg)
現物当り	54.3%	7.8	3.8						19	63		
乾物当り				1.9	0.9	2.6	2.9	0.9			8,800	340

JA直鞍 アグリ土づくりセンター

〒807-1307 福岡県鞍手郡鞍手町大字室木189-1番地
TEL0949-43-1175 FAX0949-43-1176



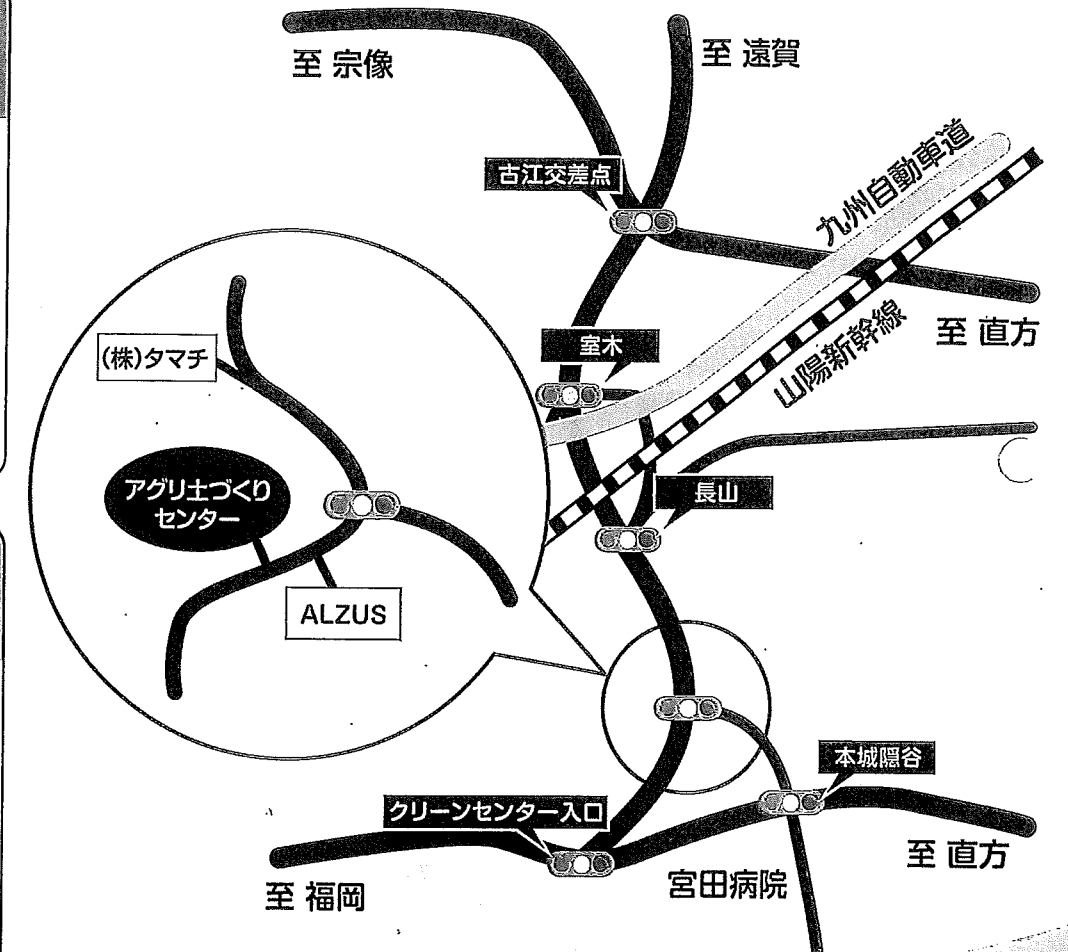
地図はコチラからご確認ください

直鞍農業協同組合

〒822-0022 福岡県直方市知古二丁目3番4号
TEL0949-24-2311 FAX0949-24-2315



地図はコチラからご確認ください



ごあいさつ

JA直鞍は、筑豊北部に位置する直方市・宮若市・鞍手町・小竹町の2市2町を管内としており、北九州、遠賀、宗像、飯塚と隣接する都市近郊型農業地帯で、水稻は県下でも良質米の産地となっております。

主要農作物は、水稻・麦・大豆・ブドウ・いちご・キャベツ・ブロッコリー・トルコギキョウ・畜産と多種多様であり、共同出荷の他、管内に6箇所ある農産物直売所施設で販売しています。

農産物の生産において、近年、化学肥料の多用や災害の多発に伴う耕作地の土壌流失などにより、良質な土壌が失われつつあります。

そのような中、農産物の安定した生産力を持続していくには、有機質肥料は欠かせないものとなっております。

「JA直鞍アグリ土づくりセンター」は、管内の畜産農家の飼育糞を副資材（パークもみ殻）を70℃以上に上昇させ発酵処理を行うと共に腐熟させ、高品質の堆肥として活用し、農産物の生産基盤である「土づくり」を推進しております。

それにより、利用者の皆さまからも堆肥の品質や評判が伝わり、近隣市町村の利用者も増加し大変よろこばれております。

今後も農業者の皆さまには生産の安定化、品質の向上による所得増大を、消費者の皆さまには「安全・安心」な農産物の安定供給を目指します。

これからも「JA直鞍アグリ土づくりセンター」は関係機関と連携しながら、「土づくり」を通じた地域農業の発展に貢献してまいります。



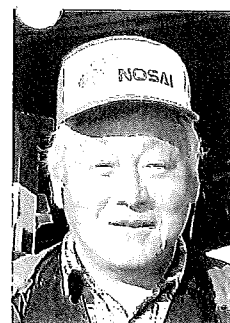
直鞍農業協同組合
代表理事組合長 堀 勝彦

JA直鞍アグリ土づくりセンターが目指すもの

- JA直鞍アグリ土づくりセンターは、管内の畜産農家の飼育糞を堆肥化し、農地に還元する資源循環型農業の推進を通じて、持続的な開発目標（SDGs）を支援してまいります。
- 地域ぐるみの「土づくり」を推進します。
- 腐熟度の高い良質な堆肥の安定供給に努めます。
- 土壌改良効果を発揮するため、利用者へ堆肥の長期連用を推進します。
- 良質な土づくり・作物生産のための肥料設計をしやすいよう、成分の安定化に努めます。
- 低コスト生産を支援するため、価格の低減につとめます。
- 高品質で高収量の農業生産、農業者の所得増大の糧となるような堆肥づくりを目指します。

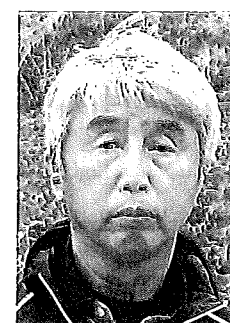


利用者の声



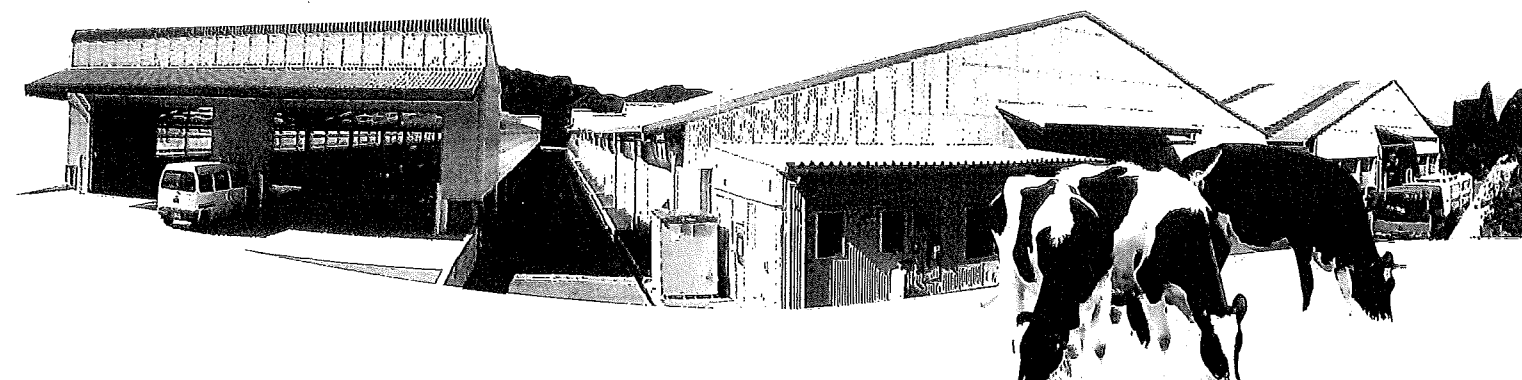
米麦を栽培しています。水田に毎年2トン自分で散布しております。地力が向上し米麦とも毎年安定して収量を上げることができ地力の大切さを実感しています。

小竹町 木原 剛さん



キャベツ、トウモロコシを主に栽培している。堆肥を毎年10a当たり4トン投入し続けているため土壌の団粒化が進み、土に空気の間隙ができることで、柔らかい土に、作物はしっかり根を張り、品質の良い野菜が採れる。

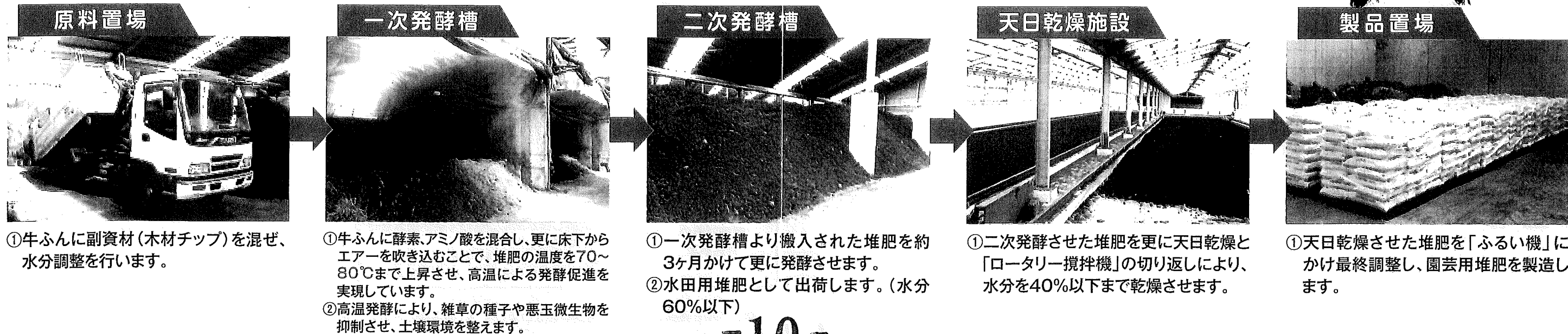
北九州市若松区 松浦 浩さん



堆肥製造工程図

堆肥がどのように作られているかをご紹介します。

JA直鞍アグリ土づくりセンターは、平成17年に完成した牛糞堆肥を作る施設です。平成21年には福岡県の堆肥コンクールで最優秀賞を受賞致しました。



(8) J A直鞍ブロッコリー産地づくり状況報告 (令和4年産)

① 誘導目的・目標について

生産者の所得向上や規模拡大を念頭に野菜産地作りに取り組む特別作付け推進目標として、ブロッコリーの作付け拡大を推進します。理由として、需要が多く希望数量が満たないのが現状です。

そこで、新規栽培品目を検討している方や水稲の裏作品目として作付け推進を行ない、安定供給のできる体制を確立します。また、安定的な買取価格での販売より所得確保やコンテナ出荷による労働力、コスト削減等が見込まれ栽培者の所得向上を目標として支援を行っていきます。

令和4年産の生産目標として、令和3年産の課題を踏まえて、目標を達成する為に10a当たりの作付け株数3,800株以上、収穫率85%以上を目指して取り組んで行く。

【目標：収益 95,000 円/反以上！！】

令和4年 8月 8日現在

項目	前年実績			令和4年計画	
	令和1年	令和2年	令和3年	推進状況	誘導目標
生産者	16名	22名	21名	18名	-
栽培面積 (a)	500a	807a	1,173a	1,145a	1,200a
収穫量 (t)	29t	58t	87t	103t	108t
販売金額	635万円	1,397万円	1,935万円	2,290万円	2,400万円
		粗収益	3,800株×85%		250,000
		生産経費	【育苗・肥料・農薬等】		50,000
		出荷経費	【加工賃・手数料等】		105,000
			収益		95,000

② 品種別作型表について

品種	播種日	定植予定日	収穫開始予定日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サマードーム	7/下	8/下	11/下	0-0							
SK9-099	8/上~8/中	9/上~9/中	11/上~12/上		0-----0						
ピクセル	8/上~8/中	9/上~9/中	11/上~12/中		0-0						
おはよう	8/上~8/中	9/上~9/中	11/上~1/上		0-0						
グランドーム	8/上~8/中	9/上~9/中	11/下~1/下		0-0						
こんにちは	8/上~8/下	9/上~9/下	11/下~1/中		0-----0						
むつみ	8/中~8/下	9/中~9/下	12/下~2/中		0-0						
美緑410	8/上~9/上	9/上~10/上	12/上~3/上		0-----0						
ウィンタードーム	8/中~8/下	9/中~9/下	1/中~2/下		0-0						
ともえ	8/中~8/下	9/中~9/下	1/中~2/下		0-0						
彩鑽	8/下~9/中	9/下~10/中	1/下~2/中		0-----0						
グリア	8/中~9/中	9/中~10/中	1/中~3/中		0-----0						
晩緑99W	9/上~9/下	10/上~10/下	3/中~4/中			0-----0					

○：定植 ■：収穫

③ 生育概況について

7月上旬より早生品種(サマードーム)の播種作業が開始され、高温多日照で推移したため発芽不良や二葉の焼けなどの発生が見られました。病害虫の発生については、一部で害虫の食害が見られるものの発生状況としては少なく推移しています。

7月から高温乾燥状態が続くなか、8月に入っても状況は変わらず、圃場準備や定植作業については順調に進んでいるが高温や乾燥傾向の影響により定植後の灌水作業が必須となっている。

今後、天候を見ながら作業(圃場準備、播種、定植など)の計画を立て収穫が分散するように作業をすすめます。

④ 今後の管理ポイントについて

	今後の管理ポイント
育苗管理	①発芽適温は25℃前後であるため、日中は温度が上がり過ぎないように十分に換気を行うとともに、直射日光を避けるために遮光を行う。 ②育苗中の灌水については、1回の灌水量を十分に行う。 ③灌水は、午前中に行うことを基本とし、夕方には表土が軽く乾くようにする。灌水が多いと苗が徒長しやすくなるため注意する。
定植準備	①圃場準備については、排水の良い圃場を選定する。排水の悪い圃場は、高畝にするなどの排水対策を行う必要がある。 ②堆肥は、定植1ヶ月前に散布し苦土石灰および基肥は定植10日前には施肥しておく。 ③定植後の活着をスムーズにするため、適度に湿気があるときに耕うんしておく。
定植	①定植適期を守るようにする(播種後25~30日以内)。 ②定植前1週間は、苗を硬化させる為に灌水を控える。定植日の朝に水を十分に与え定植を行う。 ③定植時期は、チョウ目害虫の多発期であるため、定植前に薬剤の灌注処理を必ず行う。
定植後の管理	①中耕作業は、硬くなった土壌をほぐすことで根に酸素を供給させ、生育を促進させる重要な作業となります。また、雑草を除く効果もあります。中耕は、1回目の必ず行い生育状況を見ながら2回目も行う。 ・1回目：定植後15~20日頃までに、追肥を兼ねて株間に行う。 ・2回目：定植後40日頃に、除草、倒伏防止を兼ねて通路に行う。

⑤ 病害虫発生時期について

月	7	8	9	10	11	12	1	2	3
病害虫発生			黒腐病 黒すす病			軟腐病		花蕾腐敗病 菌核病	
病害対策の共通事項			べと病 ハスモンヨトウ・コナガ・アオムシ	《葉に多発》					

- ・アブラナ科連作を避ける
- ・明渠を設置し排水路につなげて排水整備を行う
- ・予防的な防除を心掛ける
- ・降雨後や土寄せ後に、速やかに薬剤を散布する
- ・病害株は速やかに抜き取り、ほ場外で処分する

◎ラベルを確認して農薬使用基準を守りましょう。◎農薬の飛散に注意しましょう。◎散布後は器具をよく洗いましょう。